

日 付 令和7年 5月 13日
担当所属 山梨県立富士北稜高等学校
担当者名 教頭 小高 和哉
連絡先 TEL:0555-22-4161 FAX:0555-30-0173

【富士北稜高校】

令和7年度「よのなか科 特別授業 2025」第1回授業実施について

以下の通り、令和7年度「よのなか科 特別授業 2025」第1回授業を実施します。

1. 概要と目的

「よのなか科」は、山梨県知事特別顧問である藤原和博氏が考案した探究型・対話型の授業です。これは、藤原氏の提唱する21世紀型の学力「情報編集力」の育成を目的とした、生徒と大人がともに学ぶスタイルの授業で、令和5年度は都留高校、令和6年度は吉田高校において通年で開講され、受講生の変容には目を見張るものがありました。令和7年度については、富士北稜高校にて藤原氏自身による「よのなか科」の授業が開講されます。

「よのなか科」の授業では、正解がないとされる課題に対して「納得解」を考え、これからの時代を生きるために必要とされる「情報編集力」（身につけた知識や技術を組み合わせる「納得解」を導き出す力）を身に付けることを目的としています。「ブレインストーミング」「ロールプレイ」「200字作文」「ディベート」などの活動を通して、自らの意見を発信する力を身につけると同時に、「思考力」「判断力」「表現力」を養います。

富士北稜高校の「よのなか科」のコンセプトは、本年度本校に新たに設立した学校運営協議会や地元企業等との連携を前面に出した「地域との連携・協力を深めるよのなか科」です。第1回「よのなか科」には、学校運営協議会委員・地元企業・PTAの方々等一般の参加者の方10名以上が参加する予定です。第1回「よのなか科」に限らず、通年をとおして一般の参加者の方できるだけ多く参加いただき、生徒と一般の参加者の方との関係（藤原氏が提唱する「ナナメの関係」）を構築すると同時に、「よのなか科」をとおして地域との連携・協力を推進していきます。

第1回の授業では、オリエンテーションとコミュニケーションの練習を行います。

2. 日時 令和7年5月19日（月）

授業：13：30～14：20（50分）

リフレクション：14：30～15：20（50分）

3. 場所 富士北稜高校 音楽室（2号館1階）

4. 対象 授業：3年教養系列の生徒（情報選択者21名）と一般参加の方

リフレクション：一般参加の方のみ

連絡先 担当 教頭 小高 和哉 TEL：0555-22-4161(内線1228)

*取材に関しては、事前にご連絡をお願いいたします。